

いい本、あるかな。 2015 ～中学生～

三条市立図書館

〒955-0072 三条市元町1番6号

TEL : 0256-32-0657

E-mail : lib@city.sanjo.niigata.jp

URL :

http://www.city.sanjo.niigata.jp/library/

ブックガイドでお気に入りを探そう

『このミステリーがすごい! 2015年版』 『このミステリーがすごい!』編集部/編 宝島社 T901/Ko78/15

『SFが読みたい! 2015年版』 SFマガジン編集部/編 早川書房 T902/E75/15

『このライトノベルがすごい! 2015』 『このライトノベルがすごい!』編集部/編 宝島社 T910/Ko78/15

日本の小説

『死神うどんカフェ1号店』①～⑤ 石川宏千花/〔著〕 講談社 T913/I76/1～5
体は蘇生したけれど心は死んだまま。そんな希子が出会ったのは、死神がはじめたうどんカフェだったー。

『あらしのよるに』 きむらゆういち/作 あべ弘士/絵 講談社 91.3/K
あらしのよるに出会ったオオカミとヤギは、お互いの正体が分からないまま、
再び会う約束をして…。絵本の全7巻分が一冊で読める、「あらしのよるに」完全版。

『僕は小説が書けない』 中村航・中田永一/著 KADOKAWA T913/N37
生まれながらに不幸を引き寄せてしまう光太郎は、高校で文芸部に入り
個性的なメンバーにもまれながら、小説の書き方、自分の生き方を模索していく。

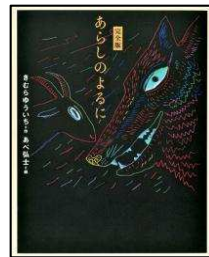
『シロガラス』①～③ 佐藤多佳子/著 偕成社 T913/Sa85/1～3
祭の夜のお神楽に選ばれた6人の子どもたちに起こるあやしいできごと…。

◆ライトノベル◆

『野崎まど劇場〈笑〉』 野崎まど/〔著〕 KADOKAWA BF/N98/2
徳川将軍とオーク、黄門さま、モーゼといった不可解極まるキャラクターたちが織りなす爆笑必至の物語の数々!

◆コミック◆

『^{こえ}聲の形』①～② 大今良時/著 講談社 M/オ/1～2
耳の聞こえる少年石田将也と、耳の聞こえない転校生西宮硝子。運命的な出会い、幾年の時を経て彼らは何処へ向かうのか。



手塚治虫文化賞
新生賞受賞

海外の小説

〈魔使いシリーズ〉①～⑩

『魔使いの血』 ジョゼフ・ディレイニー/著 東京創元社 T933/D55
闇に関する蔵書を買ってもいいという手紙をくれたトッドモダンの屋敷の女主人のもとに向かう、魔使いとトム。だが、そこで彼らを待っていたのは…。魔使いの弟子トムの成長と冒険を描く人気シリーズ第10弾。

『5分後に意外な結末』①～⑤ 学研教育出版 90/G/1～5
あつという間に読めて、あつと驚くドンデン返し!! およそ5分で読めるショートショート集。

『タイムライダーズ』1・2・2-1・2-2

アレックス・スカロウ/作 小学館 93/S/1・2・2-1・2-2
タイムトラベルが可能となり、人の野望が世界の歴史を変えてしまう時代。狂った現実をもとの世界に戻すため、タイムライダーズの戦いが始まる。



夏にぴったり! こわ～いおはなし 岩波少年文庫 ホラー短編集 ①～③

『八月の暑さのなかで』 金原瑞人/編訳 岩波書店 90/I/602

『南から来た男』 金原瑞人/編訳 岩波書店 90/I/605

『最初の舞踏会』 平岡敦/編訳 岩波書店 90/I/613

緊迫感あふれるロアルド・ダールの表題作をはじめ、ステイーヴンソン、ウェルズ、ブラッドベリ、ペロー、フォークナー、ルブラン、メリメ、モーパッサンら短編の名手たちによる怖くてクールなアンソロジー。



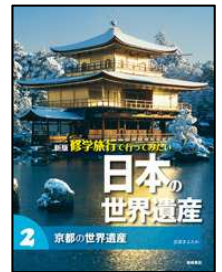
毎月23日は「さんじょう親子読書の日」です



もっと知りたい！ニッポンのこと

『新版 修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産』①～⑤ 岩崎書店 70/S/1～5
人類全体にとって貴重な価値を持っているものと認められた世界遺産。世界遺産や修学旅行で行きたい名所などを写真付きで分かりやすく解説！

『超訳マンガ百人一首物語 花の色の巻/秋の夕暮の巻』 学研教育出版 T911/C57
心をふるわせる、百の和歌と百の人生。「百人一首」全首を、オールカラーで絢爛豪華にストーリーマンガ化。和歌ってこんなに奥が深い！百人一首の入門にオススメの一冊。



将来の職業について考えよう

『？が！に変わるとき』 小国綾子／著 汐文社 07/0

人に会う。そして、疑問符を感嘆符に変えていく。新聞記者の毎日は、そのくり返し。そんな風に仕事にドキドキし、ワクワクしてきた25年間のことと、新聞記者になるまでのことをつづる。

『ナックの声が聞きたくて！』 村山司／著 講談社 T489/Mu62

「ことば」を理解し、「ことば」を話そうとする“スーパー・ベレーガ”にヒトのことばを教えたイルカ博士・村山司が、努力と友情の20年を語る。

『林業男子』 山崎真由子／著 山と溪谷社 T651/Y48

木を育て伐るヒト、木を加工し売るヒト、伝統の技を受け継ぐヒトなど、木の世界には魅力あふれる人々がいっぱい！革新する林業業界を担うヒトたちを通して、林業の「いま」と「これから」を紹介します。



中学生におすすめ～伝記～

『ちくま評伝シリーズ〈ポルトレ〉』 筑摩書房編集部／著 筑摩書房

『安藤百福—即席めんて食に革命をもたらした発明家』 T289/A47

世界初のインスタントめん「チキンラーメン」を開発した日清食品の創業者、世界の食文化に革新を起こした彼の人生を辿る。

『スティーブ・ジョブズ—アップルをつくった天才』 T289/Su83

iPhone、iPadで世界を一変させた天才、アップル創業者。夢を次々と現実にしていった男の人生を、彼を知っていた人の話と、彼の残した言葉を頼りに綴る。

『黒澤明—日本映画の巨人』 T778/Ku76

ハリウッドに世界の映画界に大きな影響を与えた世界のクロサワ。

人間を描くことにこだわり追求し続けた、その情熱と執念に満ちた闘いの日々を描く。

『ココ・シャネル—20世紀ファッションの創造者』 T289/C33

斬新なデザインと奇抜なアイデアで20世紀のファッションを根底的に変革したシャネル。女性が自由に生きるために闘いつづけたその生涯を追う。

他 シリーズ全15巻



忘れない…

◆戦争◆

『カンボジアの大地に生きて』 ミンフォン・ホー／作 さ・え・ら書房 93/H

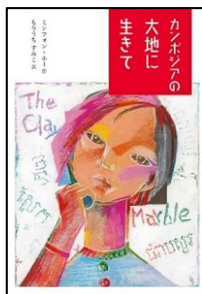
故郷ではちゃんとした農民であっても、ひとたび土地を追われるとどこにも落ち着くことを許されない難民。知られざるカンボジアを内側から描いた物語。

『はじまりのとき』 タイン＝ハ・ライ／作 鈴木出版 T933/Th1

戦火のベトナムを逃れ、難民としてアメリカ合衆国でくらすことになった家族が、新たに一步をふみだすまでの1年。詩の形式で記述した、作者の実体験から生まれた物語。

『戦争するってどんなこと？』 C. ダグラス・ラミス／著 平凡社 T319/L96

軍隊は国や人々を守るの？ それともかえって危険な存在？ 日本はどんな戦争をすることになるの？ 戦争をすること、しないことについて元米海兵隊員の著者と考える。



◆震災◆

『希望の牧場』 森絵都／作 吉田尚令／絵 岩崎書店 64/M

福島第一原子力発電所の警戒区域内に取り残された「希望の牧場・ふくしま」をモデルに、何が何でも牛たちを守りつづけようと思った牛飼いの姿を描く。

『泥だらけのカルテ』 柳原三佳／著 講談社 T498/Y53

すべてを奪い去った3・11の津波。みずからも被災しながら、泥だらけのカルテを必死でひろい集め、多くの犠牲者の身元確認作業に取り組み、地域の復興のために汗を流してきた歯科医師の3年間を追う。



毎月23日は「さんじょう親子読書の日」です

